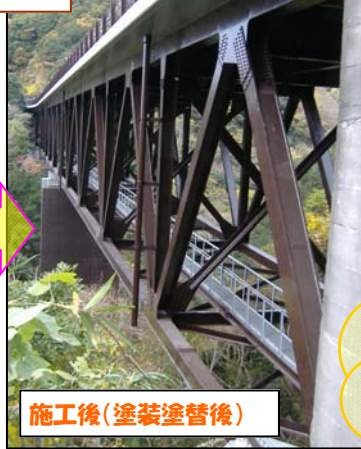


平成22年度完成 天狗橋塗装塗替工事（南伊豆町）



施工前



施工後(塗装塗替後)



ポロポロだった橋の肌が蘇りました★



スムーズ!

塗装が取れて錆が点在...



長寿命化!

第5号発行にあたり

第5号では、「平成22年度土木施設長寿命化推進委員会」について報告します。

また、平成22年度に実施された、会計検査や総務省による調査の内容についても報告します。

長寿命化に関する取組は、全国的に注目されています。

<土木施設長寿命化推進委員会>

- 目的：情報共有等
- 委員長：交通基盤部長
- 副委員長：交通基盤部理事
- 委員：交通基盤部各局長

<土木施設長寿命化計画対象工種>

1. 橋梁
2. トンネル
3. 舗装
4. 水門・陸閘
5. 係留施設
6. 斜面施設
(道路施設、急傾斜施設)
7. ダム
8. 管路

※具体的な取組については、各事業課で行っています。

発行・編集

静岡県建設技術監理センター

〒421-0122
静岡市駿河区用宗1丁目10-1
TEL 054-268-5003
FAX 054-258-6030

平成22年度 土木施設長寿命化推進委員会

下記の議題について議論が行われました。

委員長からは、長寿命化のための点検を行う人材について、今後は体制を整えていく必要があるとの意見がありました。

【議題】

- (1) 各工種における取組状況と今後の計画について
- (2) 農業用水の安定供給に向けた取組について
- (3) 県内市町の長寿命化計画取組状況について
- (4) 「今後の社会資本のあり方研究会」について
- (5) 来年度の予定について

議題(1)における、各工種の取組状況について紹介します。

「橋梁」 -道路整備課橋梁班-

- ・「道路施設長寿命化緊急対策事業(以下、「緊急対策事業」という)」等により、中長期管理計画に基づいた修繕を実施。
- ・今年度の対策工事により、計画対象の107橋の内28橋の対策が完了の予定。

「舗装」 -道路保全課舗装班-

- ・緊急対策事業等により、中長期管理計画に基づいた舗装補修を実施。
- ・今年度の対策工事により、計画対象の約380kmの内、29km程度の対策が完了の予定。

「トンネル」 -道路保全課維持防災班-

- ・緊急対策事業により、非常用設備の更新を実施。
- ・今年度の対策工事により、計画対象の28トンネルの内、7トンネルの対策が完了の予定。

「水門・陸閘」 -河川海岸整備課河川整備班-

- ・沼川第2放水路水門(制水門・排砂水門・暗渠部)において、長寿命化計画を策定し、補修等に関する詳細設計を実施。

「係留施設」 -港湾整備課港湾工事班-

- ・清水港と田子の浦港において、長寿命化のための維持管理計画を策定。

「ダム」 -河川企画課利水班-

- ・奥野ダムにおいて、流木やごみの捕捉用網場の取り替えを実施。
- ・奥野ダム、青野大師ダム及び、太田川ダムの定期点検を実施。



ダム

「斜面施設」-道路保全課維持防災班

-砂防課傾斜地保全班-

- ・道路施設は、道路防災週間の点検箇所から抽出した箇所等の18箇所について定期点検を実施。
- ・急傾斜施設は、計画的点検箇所等22箇所について定期点検を実施。
- ・急傾斜施設点検により変状が確認された1箇所に対して、専門技術者点検及び補修工事を実施。

「管路」-生活排水課流域下水道班-

- ・狩野川東部以外のデータベースを構築。
- ・施設の定期点検を実施。

総務省は、テスト調査で得た情報を参考に、具体的な調査計画を策定し、全国の地方自治体に本調査を実施しているようです。

平成21年度には…

道路橋の保全等を中心とした調査が実施されており、国土交通省に対し下記のような勧告がありました。

【主な勧告内容】

- ・地方公共団体と連携・協働し、長寿命化計画による効果を算出するための手法等の検討を進めること。



ヒアリング調査状況写真



現場視察状況写真

総務省行政評価局による ヒアリング調査

今年度、総務省による「社会資本の維持管理及び更新に関する行政評価・監視」に係わるヒアリング調査が実施されました。

今回は、全国調査のためのテスト調査で、具体的な調査計画を策定するため、静岡県施設の維持管理状況について調査（情報収集）したいとのことでした。

(1) 調査対象

- ① 港湾施設
- ② 空港施設
- ③ 河川管理施設

(2) 調査内容

- ① 各施設のストックの現状等
- ② 各施設における定期点検等の実施状況
- ③ 各施設における長寿命化対策（予防保全対策）の取組
- ④ 民間活力の活用について
- ⑤ 各施設の維持管理状況等の公表

社会資本の維持管理の実施状況に関する 会計検査

今年度、社会資本の維持管理に関する会計検査が実施されました。

(1) 調査対象

- ① 道路施設
- ② 河川管理施設
- ③ 下水道施設
- ④ 港湾施設

(2) 調査内容

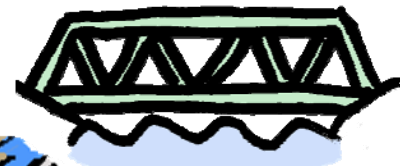
- ① 長寿命化計画の策定等が適正に行われているか
- ② 施設台帳、点検結果が適正に整理され、有効に活用されているか

調査後の講評では、長寿命化計画の内容に、今まで実施してきた点検結果等の情報が反映されていないとの指摘を受けました。

点検結果や施設台帳の情報管理が今後も重要であることを再認識しました。



河川管理施設(水門)



道路施設(橋梁)

その後…

同テーマによる調査は、全国的に実施されたようです。

平成22年10月には、会計検査院長から国土交通大臣に対し、施設情報について適正に管理するよう、会計検査院法第36条の規定による意見表示がありました。

そして、同年11月には、国土交通省から各県・政令市に対し、同内容の事務連絡がありました。

<来年度に向けて…>

来年度は、土木施設長寿命化計画対象工種の8工種だけでなく、部内全体で長寿命化計画に関する情報を共有するため、部内横断的な推進委員会等を設置し、個別の長寿命化計画の推進に役立てていく予定です。

《お知らせ》

交通基盤部のHPに各工種のガイドラインをPDFファイルで公表しています。
静岡県交通基盤部アセットマネジメント関連ページ
⇒<http://www.shizuoka.jp/kensetsu/ke-030/asset/index.html>

